

大分県農林水産研究指導センター 知財(育成品種)PRシート

品種の名称	トヨノホシ	
農林水産植物の種類	オオムギ	
登録の状況	登録番号	第26579号
	登録年月日	2018年(平成30年)2月9日
	共同出願者の名称	大分県酒造協同組合

来歴	2006年(平成18年)に大分県農林水産研究センター水田農業研究所(現大分県農林水産研究指導センター農業研究部水田農業グループ)が「九州二条18号」を母、「ニシノホシ」を父として人工交配を行い育成した。
----	---

育成の背景と目的	大分県では多くの焼酎醸造メーカーが立地する全国一の麦焼酎生産県である。現行品種である「ニシノホシ」が近県で発生が確認されているオオムギ縞萎縮病Ⅲ型に罹病性であり、また、酒造メーカーからブランド焼酎開発のための新品種育成が強く求められていた。 (ただし、栽培は大分県内に限られる。)
----------	---

特徴、内容	<p>①早生の二条皮麦であり、「ニシノホシ」と比較して稈長、穂長は同程度、穂数は少ないが千粒重が重いため、収量は同程度～優れ、倒伏は同程度に強い。</p> <p>②外観品質は「ニシノホシ」並に良く、穀粒硬度SKCSは「ニシノホシ」よりやや高い。</p> <p>③日本で発生が確認されているオオムギ縞萎縮病ウイルスⅠ～Ⅴ型すべてに抵抗性である。また、うどんこ病抵抗性は「ニシノホシ」と同様に抵抗性である。</p> <p>④焼酎醸造適性については、大分県酒造協同組合での醸造試験及び官能試験の結果、高い評価を得ている。平成30年現在、12社から「トヨノホシ」を原料とした焼酎が販売されている。</p>
	 

開発所属 (問合せ先)	名称	農林水産研究指導センター 農業研究部 水田農業グループ 水田農業チーム
	住所	大分県宇佐市大字北宇佐65
	TEL	0978-37-1160